



HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 令和4年9月30日発行



▲関東大会に出場した選手たち



▲富can祭の様子

全国大会に出場した選手たち▶

▼関東大会に出場した水泳部



令和4年

9/30

第65号

○先生方をお願いした8項目 学校長 大橋 芳樹	2ページ
○令和5年度入試要項	3ページ
○関東大会	4~5ページ
○高校総体・総文祭	6~7ページ
○本校舎トピックス	7~8ページ
○富田キャンパストピックス・富can祭	9~10ページ
○白鷗大学だより	11ページ
○PTAだより・一日体験学習・他	12ページ



先生方にお願いした8項目

白鷗大学足利高等学校長 大橋 芳樹

本校の校長を拝命して2年目となります。2年間にわたって、年度当初の職員会議で、先生方には次の8項目をお願いしました。

①「授業第一主義」で！

先生方には、クラス担任、部活動の顧問、校務分掌に関連する業務など様々な職務を担っていただけていますが、いままでもなく授業が最も重要な職務です。本校舎の先生方には生徒たちに、進学にしても就職にしても、そこで必要とされる学力を、富田キャンパスの先生方には生徒たちに、各教科とも大学入学共通テストで全国の平均点を上回る学力を授業で身につけさせることをそれぞれお願いしました。

②「生徒第一主義」で！

常に生徒の笑顔を思い描きながら職務に当たってほしいと話しました。現在、生徒の主体性の育成が大きな課題となっております。生徒の持つ無限のポテンシャルを信じて、部活動や学校行事等で、生徒が主体的に活動できる場面を



用意してほしいともお願いしました。家庭内でも、生徒が主体的に活動できる場面を用意してください。

③「生徒も人格を持った一人の人間である」ことを肝に銘じよ！

部活動などで、教員からのトツプダウンの強い指導が全国的の問題となりました。教員と生徒との関係性は上下関係ではなく、ましてや、生徒は教員の従属物ではありません。「忠告は秘やかに、称賛は公に」という古代ローマの喜劇作家シルスの言葉を引用し、鋭い人権感覚を持った教育活動を実践するようにお願いしました。

④「生徒のやる気」に火をつける！

生徒はやる気になれば自然に燃えていくので、先生方には「チャッカマン」になってほしいという話をしました。生徒に多方向からの刺激を与え、どこにあるか分からない生徒の「やる気スイッチ」をONにしてほしいとい



入学式での校長祝辞

う話もしました。生徒にとって、先生方は「応援団員」、校長は「応援団長」だと思っています。「十年後の未来」を予測した教育実践を！

⑤「十年後の未来」を予測した教育実践を！

変化の激しい社会情勢を反映し、「思考力・判断力・表現力の育成」「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」などをキーワードとした教育改革が推し進められています。本校も、令和6年度からの富田キャンパスと本校舎の一体化に伴うコースの見直しの最中で、十年後の社会情勢を見据えた「持続可能な学校 (Sustainable School)」の構築を目指しています。

⑥「居がいのある学校」に！

生徒が様々な教育活動の中で生き生きと自己表現ができる場のあ



入学式での担任紹介

風通しのよい職場としての学校という生徒にとっても先生方にとっても「居がいのある学校」にしてほしいという話をしました。

⑦「相身互い」の精神で！

「相身互い」とは「同じ境遇にある者同士が同情し、助け合うこと。また、その間柄」をいいます。白鷗足利の生徒同士、先生同士、



入学式の様子

生徒と先生との関係は、正に「相身互い」です。お互いを助け合う関係であってほしいと願っています。

⑧「いい塩梅」で！

日本では現在、働き方改革が進展しています。先生方には、仕事で健康を害したり、家族との生活を犠牲にしたりすることのない働き方をお願いしました。もちろん「いい加減」ではいけません。「いい塩梅」が重要です。保護者の皆様、生徒の皆さんのご協力もお願いいたします。

入試相談会 (中学校3年生と保護者対象)			
	本校舎	富田キャンパス	埼玉会場 ＜市民プラザかそ＞
期 日	10月15日(土) 11月 5日(土) 11月27日(日)	11月 3日(木) 11月19日(土)	9月29日(木) 17:00~20:00 11月21日(月) 17:00~20:00
時 間	9:00~12:30	9:00~12:30	白鷺大学会場 ＜大行寺キャンパス＞ 10月29日(土) 10:00~15:00

※本校の入試に関する質問に応じますので、ご都合のよい日時においでください。事前のお申し込みは不要です。この件についてのお問い合わせは各校舎に連絡するかEメールでお願いします。✉ nyushi-h@hakuoh.ed.jp

令和5年度の入試要項が下記のように決まりました。出願はすべてインターネットで行います。詳細につきましては、本校のホームページ、または本校の入試要項で確認ください。
なお、今年度も左記のとおり入試相談会を実施します。お気軽にご参加ください。

令和5年度
入試要項決まる

令和5年度入試要項

	試験別	コース(入学校舎)	試験日	試験教科	出願期間	合格発表
第1回入試	学業特待生 (併願)	特別進学コース(富田キャンパス) 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 合格者は、希望により本校舎の文理進学コース、または総合進学コースから選択して入学手続きができます。	令和5年 1月5日(木)	国・社・数・理・英	令和4年 11月26日(土)~12月6日(火)	令和5年 1月10日(火)
	特別進学コース (単願)	特別進学コース(富田キャンパス) 不合格者については、試験の得点により学業特待生入試に換算して判定します。		国・社・数・理・英 面接		
	単願推薦	進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎)		国・数・英・面接		
	運動部・文化部 特待生(単願)	文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎)		国・数・英・面接 実技		
第2回入試	学特ランクアップ (併願)	特別進学コース(富田キャンパス) 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 合格者は、希望により本校舎の文理進学コース、または総合進学コースから選択して入学手続きができます。	令和5年 1月29日(日)	国・数・英	令和5年 1月10日(火)~17日(火)	令和5年 2月2日(木)
	一 般 (併願)	進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎)		国・数・英・面接		

・新型コロナウイルスの感染状況により、予定が変更される場合がございますので、ご了承ください。

富田キャンパス オープンキャンパス

申し込み期間 定員になり次第、
受付を終了させていただきます。

9月5日(月)~10月3日(月)

- 10月 8日(土)
- 10月22日(土)
- 9:30~ 受付
- 9:55~ 学校説明
- 10:50~ 授業見学
- 11:35 終了予定

各回定員
100名



白鷺大学足利高等学校富田キャンパス

- JR富田駅より徒歩3分
- 富田キャンパスへは東武伊勢崎線足利市駅・館林駅・太田駅および尾島方面より登下校時にスクールバスを運行します。
- 古河・結城方面および佐野・栃木方面からは富田キャンパスと本校舎へ登下校時にスクールバスを運行します。

〒329-4214 栃木県足利市多田木町1067
TEL.0284-91-2633



白鷺大学足利高等学校本校舎

- JR足利駅南口より徒歩1分
- 東武線足利市駅より徒歩10分

〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町3-2
TEL.0284-41-0890 (代)
HPアドレス: <https://hakuoh-h.jp/>

関東大会

インターハイへ向けて

9部134名が出場

ボクシング部 3階級制覇&学校対抗優勝

6月3〜6日、日野市市民の森ふれあいホールで令和4年度第7回関東高等学校女子ボクシング大会が行われ、本校からは、ピン級で総2の4早川瑠愛さん（山辺中）、フライ級で総2の3鈴木美結さん（宮代百間中）、ライト級で総3の4小林渚沙さん（姿川中）の3名が出場しました。



関東優勝者

結果は、早川さんが接戦を制し初の関東チャンピオンに、小林さんは安定したボクシングで2度目の関東チャンピオンに、それぞれ輝きました。さらに、鈴木さんは技術が光り3度目の関東チャンピオンに輝き、昨年に続き2年連続で最優秀選手賞を受賞しました。

出場した3名全員が優勝し、女子学校対抗も2度目となる優勝を成し遂げ、本校生徒の活躍が目立った大会になりました。

3名とも9月に北海道紋別市で開催される全日本選手権大会への出場も決まっています。全国チャンピオンを目指して頑張りますので、ご声援よろしく願っています。

陸上競技部 地元開催で躍進

6月17〜20日、宇都宮市のカンセキスタジアムとちぎで関東高校総合体育大会が行われ、男子14名、女子15名の計29名が出場しました。

結果は男子1600リレーでは、栃木県高校記録に迫る好記録で第2位に入賞し、女子100リレーハードルでは、中里百葉さんが栃木県高校記録を樹立して優勝するなど、男女合わせて9種目に入賞しました。悔しい結果に終わった選手の方も、インターハイで力が発揮できるように頑張りたいと思います。

一 関東高校総体入賞者

- 男子400リレー
第6位 総2の2竹村 爽良(三和中)
- 男子800リレー
第6位 総1の1市村 蓮(岡々田中)
- 男子400リレーハードル
第6位 総3の3渡辺 伸吾(佐野城東中)
- 男子1600リレー
第2位 総2の2岡村 空都(佐野南中)
- 第3位 総3の2竹村 爽良(三和中)
- 第3位 総3の3渡辺 伸吾(佐野城東中)
- 第3位 総3の3丸山 大善(小山中)

一 関東高校総体入賞者

- 女子100リレー
第5位 総2の4二宮 音彩(栃木西中)
- 第9位 総3の1福田 蒼依(矢板中)
- 女子200リレー
第5位 文3の4福田葉々(黒磯北中)
- 女子100リレーハードル
優勝 文3の1中里 百葉(田沼東中)
- 女子400リレー
第4位 総3の1福田 蒼依(矢板中)
- 第4位 総1の2覺本 千莉(栃木西中)
- 総2の4二宮 音彩(栃木西中)
- 文3の4 福田葉々(黒磯北中)
- 女子走幅跳
第5位 総3の1福田 蒼依(矢板中)



関東大会に出場した陸上部

柔道部 収穫の第3位入賞

6月3日に千葉県成田市仲台運動公園で開催された関東高等学校柔道大会に出場しました。

2回戦の高崎高校（群馬県）、3回戦の杉並工業高校（東京都）を共に5-0、4回戦の東海大浦安高校（千葉県）に2-0で勝利しました。続く準々決勝はつ



第3位の柔道部

は秀英高校（茨城県）に2点リードされた絶体絶命のピンチを副将・総3の5齋五澤凌生

さん（足利一中）が合わせ技一本勝ちで反撃の狼煙を上げると、引き分け以下で敗退が決まるこの大一番を大将・総3の3齋藤颯太さん（安田学園中）が残り時間1秒、得意の大内刈で一本勝ち。見事大逆転し、2-2の内容勝ちでベスト4入りを果たしました。準決勝戦では前年王者の埼玉栄高校（埼玉県）に先鋒戦で失点した悪い流れを打開できず、0-1で敗れました。

敗れましたが、6年ぶりの第3位入賞という結果と、夏のインターハイに向けて大きな収穫を得る大会となりました。

剣道部 男子団体でベスト8

6月11・12日、前橋市のALSO OKぐんまアリーナで関東大会が行われ、2年連続で男女そろっての出場を果たしました。

女子団体戦は1回戦で東京都の日体荏原を3-0で破り、続く2

回戦で山梨県王者の甲府商業と対戦。一人リードされた状況で迎えた大将戦、文3の2山口真凜さん（足利二中）が果敢に攻め込みますが、引き分け。惜しくも敗れはしたものの女子は関東大会初勝利を挙げることができました。

男子団体戦は、1回戦で東京都の都立富士に勝利し、2回戦で埼玉県王者の本庄第一と対戦。先鋒戦を落としますが、中堅の総3の5荒海航平さん（小山三中）が気迫の一本勝ちし、代表者戦となりました。相手は関東個人王者の久保選手でしたが、延長戦で総3の1岸愛琉さん（小山三中）が殊勲の一本勝ち。前日の個人戦で圧倒的な実力で優勝した久保選手からの一本に会場が大きく湧きました。続く3回戦は千葉県の拓大紅陵を3-1で破り、準々決勝で、茨城県の強豪、水戸葵陵と対戦します



関東大会ベスト8の剣道部

が、0-2で敗れました。しかし、関東個人王者を破つてのベスト8入りはチームにとつて大きな収穫となりました。目標の全国制覇に向けて、更に精進します。

女子ソフトテニス部

団体・個人とも第3位入賞

6月3～5日、東京都の小金井公園テニスコートおよび府中の森公園テニスコートにおいて、関東高校大会が行われました。

団体戦の初戦は清瀬高校（東京都）と対戦し、3-0で勝利しました。ベスト4をかけた埼玉平成高校（埼玉県）との準々決勝では、文2の3渡邊知奈さん（今市中）・総1の3富山鈴香さん（杉戸広島中）ペアが3番勝負を4-1で制し、準決勝へと駒を進めました。準決勝では文大杉並高校（東京都）に敗れましたが、第3位入賞を果たしました。

本校から8ペアが出場した個人戦では、総2の1日笠愛美さん（壬生中）・総3の3橋本和香菜さん（杉戸広島中）ペアが第3位入賞を果たしました。

団体戦・個人戦とも第3位に入賞し、インターハイに向けて弾みをつける大会となりました。チー



団体戦第3位のメンバー

ム一丸となってインターハイもしっかりと戦ってきたと思います。応援ありがとうございました。

水泳部

一泳入魂

7月20～22日、千葉県国際総合水泳場にて、第73回関東高等学校選手権水泳競技大会が開催され、本校からは25名が出場しました。結果は表の通りです。



関東大会に出場した選手たち

□入賞しインターハイ出場権獲得
100メートル背泳ぎ第5位
200メートル背泳ぎ第4位
総2の2尾崎 元希さん（足利北中）

□標準記録を突破しインターハイ出場権獲得
4×100メートルメドレーリレー（男女）
総2の2尾崎 元希さん（足利北中）
文3の3張田 聖也さん（旭中）
文2の1瀧澤 悠太さん（国分寺中）
総2の5福田 奈央さん（晃陽中）
文2の1武藤和香奈さん（足利西中）
総2の1浦野菜々香さん（足利三中）
総2の1村上 碧さん（小山城南中）
文2の2小嶋 里菜さん（協和中）
4×100メートルフリーリレー（男子）
総2の2尾崎 元希さん（足利北中）
文2の3溝口 新大さん（佐野北中）
文2の1黒須 大幹さん（毛野中）
総2の5福田 奈央さん（晃陽中）

4×200メートルフリーリレー（男女）
文3の1高村 和希さん（明治中）
文1の3川村 健太さん（あそ野中）
文2の1黒須 大幹さん（毛野中）
総2の5福田 奈央さん（晃陽中）
文2の1武藤和香奈さん（足利西中）
総2の1村上 碧さん（小山城南中）
文2の2小嶋 里菜さん（協和中）
文3の4遠山 夢乃さん（桐大付属中）

女子バスケットボール部

敗戦から学んだこと

6月11・12日に宇都宮市の日環アリーナで行われた関東高等学校女子バスケットボール大会に出場しました。1回戦の相手は茨城県代表の土浦日大高校でした。試合序盤は、相手の高さを生かしたブレイクから得点を決められ、1ピリオドは16-29と差をつけられてしまいました。その後は、ディフェンスからの速攻が決まりだし、チーム最多得点を挙げた文3の4中村音若さん（鹿沼西中）の活躍で7点差まで追いつきましたが、最後は55-72と差をつけられ1回戦敗退。1ピリオドの差がそのまま最終スコアとなりました。



出場メンバー

今回の大会を通して、試合の重要性を

強く感じました。今後はこの反省を生かし、さらに精進していきます。応援ありがとうございました。

男子ソフトボール部

強豪校に惜敗

6月4・5日に茨城県の桜川市運動公園及び桜川市真壁運動場で関東高等学校男子ソフトボール大会が行われました。



監督のもとに集合する選手たち

初戦は前年度準優勝校である新島学園高等学校（群馬県）との対戦でしたが、臆することなくいつもの練習成果を発揮しようと試合に臨みました。立ち上がり苦しみ、初回に4失点を喫しましたが、2回裏から進3の1梁島晴登さん（壬生中）が好投し5回を2失点に抑えました。

一方、攻撃においては何度かチャンスを作るも、決定打が出ず1得点のみとなりました。しかし、新島学園相手にコールドにならず7回フルに戦えたことで、日ごろの練習成果を発揮することができ

たと思います。これからも応援よろしくお願いします。

体操部

男子団体と女子個人に出場

6月3～5日、日環アリーナ栃木において関東大会が開催され、体操部は男子団体と、女子個人に総2の1島田実果さん（毛里田中）が出場しました。

今大会は地元栃木県での開催だったため、選手たちは落ち着いて自分の持っている力を十分に発揮した演技をすることができました。

今回の出場選手は1、2年生が中心でした。今大会での経験を来年に生かせるように、さらに高度な技にも挑戦し、高得点を目指していこうと思います。

□男子団体出場メンバー
進2の3齋藤 央輝さん（太田南中）
文1の1齋藤 拓斗さん（富田中）
文1の2平塚 蒼羅さん（館林三中）
総1の5張替 彪勇さん（館林四中）



関東大会に出場した選手たち

躍動の青い力 四国総体2022

陸上競技部 全国で快走

8月3～7日、徳島県鳴門市ポカリスエットスタジアムにて全国高等学校総合体育大会が行われ、17名の選手が参加しました。

男子は400メートルで総3の2竹村爽良さん(三和中)、800メートルで総1の1市村蓮さん(間々田中)、400メートルハードルで総2の3渡辺伸吾さん(佐野城東中)、1600メートルリレーで総3の2岡村空都さん(佐野南中)・竹村さん・渡辺さん・総3の3丸山大善さん(小山中)が出場しましたが、予選敗退でした。

女子は1000メートルで総2の4二宮音彩さん(栃木西中)、2000メートル文3の4福田菜々子さん(黒磯北中)、1000メートルハードルに文3の1中里百葉さん(田沼東中)、



100mハードルに出場した中里さん(手前)

走幅跳到総3の1福田蒼依さん(矢板中)、400メートルリレーに中里さん・総1の2覺本千莉さん(栃木西中)・二宮さん・福田菜々子さんが出場しました。この中で、中里さんが100メートルハードルで見事予選を突破し、準決勝に進出しましたが、惜しくも決勝進出はなりませんでした。また、女子400メートルリレーも昨年に続き準決勝に進出しました。

来年も全国の舞台で活躍できるように、チーム一丸となって精進していきたいと思えます。

柔道部

団体第5位・齋五澤さん準優勝

8月6～8日、愛媛県松山市の愛媛県立武道館で開催された全国高等学校総合体育大会に出場しました。

団体戦の初戦、福井工大福井(福井県)戦では、総3の5齋五澤凌生さん(足利一中)が中堅戦で敗れた相手に雪辱を果たす内股一本で勝利し、2-2の代表戦を制しました。2回戦は東海大仰星(大阪府)に副将総1の3柴田陽さん(金目中)が鮮やかな内股一本で試合を決め3-0、3回戦の延岡学園(宮崎県)戦では、先鋒総3の3内藤智さん(足利一中)

の合せ技を皮切りに4-1で勝利。準々決勝は今大会で準優勝の作陽(岡山県)に1-3で敗れますが、春の高校選手権に続き第5位入賞を果たしました。

個人戦では、73kg級で総3の4長須祐太さん(結城中)、100kg級で総3の2萩原魁聖さん(足利一中)がベスト16。90kg級で出場した齋五澤さんは、思い切りのいい柔道で決勝戦まではオール一本勝ちで勝ち上がり、見事準優勝となりました。

たくさんのご声援、ご協力ありがとうございました。



個人戦90kg級で準優勝した齋五澤さん

水泳部

一泳入魂

8月15～18日、高知県高知市東部総合運動場くろしおアリーナにて、全国高等学校総合体育大会水泳競技大会第90回日本高等学校選手権水泳競技大会が開催され、本校からは13名が出場しました。全力を出し切ろうとチームが一つに

なり、練習を重ねる大会に臨みまし。コロナウイルス感染症の影響で大会が中止になってしまおうなど



インターハイに出場した選手たち

悔しい思いをしてきました。2年ぶりにリレー競技が行われ、チームとして戦う

ことができず。いつもとは違う雰囲気圧倒されながらも、最後まで諦めずに、全力を出し切りました。その結果、総2の2尾崎元希さん(足利北中)が1000メートル背泳ぎ、2000メートル背泳ぎともにB決勝に進出しましたが、残念ながら、他も含めて決勝進出はなりません。この悔しい経験を生かし、来年は今年以上の結果を出せるよう、頑張っていきたいと思えます。

コロナ禍で無観客ではありませんが、保護者の皆様や応援してくださる方々の気持ち、本当に選手たちの励みになりました。応援ありがとうございました。

女子ソフトテニス部

団体戦ベスト16

7月28～31日、愛媛県今治市営スポーツパークテニスコートで、全国高校総体ソフトテニス競技が

行われ、団体戦及び個人戦で4ペアが出場しました。

個人戦では、総1の4真船姫来さん(西郷一中)・総2の1柳沼里彩さん(西郷一中)ペアは地元今治北高校の選手に敗退、文2の3渡邊知奈さん(今市中)・総1の3富山鈴香さん(杉戸広島中)ペアは1回戦を勝ち上がるも2回戦で敗退しました。総2の1日笠愛美さん(壬生中)・総3の3橋本和香菜さん(杉戸広島中)ペアと総3の3菊次萌花さん(下館南中)・総2の5梶原理央さん(今市中)ペアは4回戦まで駒を進めるも、上位進出は果たせませんでした。

2回戦から登場した団体戦では静岡県の浜松商業高校と対戦しました。1-1で迎えた3番勝負を菊次さん・梶原さんペアが制し、2-1で勝利しました。ベスト8をかけた京都光華戦では0-2で敗退しましたが、団体戦ではベスト16入りを果たしました。



ストロークをする菊次さん

チームは来年の北海道インターハイを目指します。応援ありがとうございます。

ハイスクールジュニアパンカッパ 日笠さん・橋本さんペア第5位入賞

6月23～26日、北海道札幌市円山庭球場で、第51回ゴーセン杯争奪ハイスクールジュニアパンカッパフットニス2022が開催されました。この大会には各都道府県からシングルスに1名、ダブルスに1ペアがそれぞれ出場できます。各都道府県の代表者が出場することと、インターハイ前の6月に行われる全国大会ということから「ソフトテニスの甲子園」「インターハイの前哨戦」とも呼ばれる大会です。

シングルスに出場した総3の3菊次萌花さん（下館南中）は1回戦で滋賀県の選手に勝利するも、2回戦で鹿児島県の選手に敗退しました。

ダブルスに出場した総2の1日笠愛美さん（壬生中）・総3の3橋本和香菜さん（杉戸広島中）ペアは力を発揮し、第5位に入賞しました。

全国の舞台で力を発揮できたことは自信につながりました。応援ありがとうございました。



第5位に入賞した日笠さん(左)と橋本さん

バトントワリング部 とうきょう総文2022



とうきょう総文パレード

第46回全国高等学校総合文化祭（とうきょう総文2022）にバトントワリング部4名が出場しました。パレード部門

では、丸の内通りをバトンとポポンの演技をしながら歩きました。コロナ禍のため、感染防止対策による規制がありました。沿道の人たちが笑顔で拍手を送ってくさり、とても嬉しかったです。

バトントワリング部門は、武蔵野の森総合スポーツプラザで開催されました。タイトルは、「RED DRAGON」。フォメーションの変化で魅せながら、ほの暗い闇の中で赤くうごめくドラゴンを表現しました。県内4校合同34名での演技を創り上げるには多くの試練もありましたが、一体感を味わいながら演技をすることができました。支えてくださった人たちに感謝したいです。

□出場メンバー

文3の1 渡来 愛夢亮（白鷺足利中）
総2の1 宇野木 琉那亮（北押原中）
総2の4 立澤 伶奈亮（館林一中）
文1の3 石井 沙彩亮（足利二中）

囲碁将棋部 総合文化祭に両部門で出場

7月31日から、東京都の日本棋院東京本院にて第46回全国高等学校総合文化祭・囲碁部門が開催されました。2年連続での全国総合文化祭出場となった進2の1丸山榛菜さん（足利西中）は、今年度は女子個人戦での出場となりました。この大会は、各都道府県から1名のみが出場を許されます。その狭き門を潜り抜けた強豪がひしめく中、栃木県勢としては数年ぶりの勝利（結果2勝）を挙げ、全体では35位という結果を残すことができました。



対局中の大栗さん

続く8月3日からは、同大会の将棋部門が東京都の都立産業貿易センター・浜松町館で開催、2年連続で、女子個人戦の部に進3の1大栗さやかさん（国分寺中）が出場を果たしました。序盤から優勝候補との対局の中、多彩な攻めを見せて1勝をもぎ取り、結果57位という結果を残すことができました。今後も囲碁・将棋共に、全国大会上位入賞に向け、切磋琢磨していきます。

本校舎トピックス

新入生歓迎球技大会



SASSEN

5月24日、eスポーツ2種目を含めた全5種目の球技大会がクラス対抗で行われました。

SASSENは、センサー付きの光る刀を使って戦う次世代デジタルスポーツで、チャンバラのような感覚で取り組みやすく、生徒たちも楽しんでいる様子でした。決勝トーナメントでは、勝ち残った強豪クラス同士の戦いとなりました。1セットの攻撃は5スイングまで等のルールを考慮し、戦略

を立てて試合に挑むクラスもありました。優勝をかけた決勝戦は延長戦までもつれ込み、一本決めたクラスが優勝という息を呑むような戦いとなりました。

今回初めて行われたeスポーツのSASSENとHADOは、非常に楽しかったと生徒からも好評でした。また、ソフトバレーボール、バドミントン、卓球でも熱戦が繰り広げられ、球技大会を通してクラスの仲も深まったようです。次の大きな学校行事は10月の体育祭です。再びクラスの生徒全員で、一致団結することを期待します。

<令和4年度> 新入生歓迎球技大会 結果

◆HADO
優勝 文理進学コース 3年1組
2位 総合進学コース 2年2組
3位 総合進学コース 3年1組
3位 文理進学コース 2年3組

◆SASSEN
優勝 総合進学コース 2年5組
2位 総合進学コース 3年4組
3位 総合進学コース 2年3組
3位 文理進学コース 2年3組

◆ソフトバレーボール
優勝 総合進学コース 3年2組
2位 総合進学コース 3年3組
3位 総合進学コース 1年5組
3位 総合進学コース 2年4組

◆卓球
優勝 総合進学コース 3年4組
2位 総合進学コース 3年2組
3位 文理進学コース 1年1組
3位 総合進学コース 2年5組

◆バドミントン
優勝 総合進学コース 3年3組
2位 総合進学コース 1年1組
3位 総合進学コース 2年1組
3位 総合進学コース 3年2組



バドミントン

本校舎 進学・就職ガイダンス

3年進学・就職ガイダンス

6月15日、第3学年では進学および就職ガイダンスを実施しました。

進学希望者は全体講演会をテレビ視聴した後、新体育館や多目的室等において、上級学校の先生方による分野別分科会に参加しました。



3年就職ガイダンス

社会見学

5月23日、第3学年は東京ディズニーシーで社会見学を実施しました。この行事は本来、1年次に予定していたものですが、コロナ禍のため中止となっていました。その後の2回の計画も同様になってしまいましたが、感染状況が落ち着いてきたタイミングでの実施となりました。

当日は天候にも恵まれ、生徒た



社会見学

ちは充実した1日を過ごしていました。また、集団行動や事前に行ったプリントでのホスピタリティ学習を通して、普段とは違った学びを経験することができました。この学年は入学から約2か月の



3年進学ガイダンス

就職希望者は終日、9階会議室において、グループワークや模擬面接などを行いました。

進路決定に向けて、各々が自分の進路希望に合ったガイダンスを受講し、真剣に取り組む様子が見られました。進路決定に向けて実のあるガイダンスとなりました。

2年進路ガイダンス

5月23日、本校舎の2年生を対

象に希望進路別の説明会が開催されました。入学以来感染症対策の観点から、講演会や説明会をリモートやTV視聴形式で実施してきました。しかし、全国的に感染状況が安定していることなどから、大学・短大、専門学校、就職、公務員の4講座に分かれて対面形式で説明を聞きました。

生徒たちは、試験を行う立場にある講師の先生からの貴重な情報に、改めて自己の進路決定に向けた事前準備の重要性を認識したようです。

1年進路ガイダンス

7月11日、本校舎1年生を対象とした進路ガイダンス（適性診断結果解説会）が実施されました。

新型コロナウイルス感染防止により、生徒はTeamsを利用した



社会見学

休校でスタートし、2年間の学校生活でも多くの行事や部活動の大会等が中止になりました。そのような中、今回の社会見学が生徒たちの高校生活の良い思い出の一つになることを願っています。

オンラインで説明を受けました。

この講演会で生徒は「今」の興味・関心分野に、どんな仕事があるのか、それに基ついた進学先はどこにあるのかを学びました。また、今まで知らなかった仕事や学問が世の中になくさんあること、自分が心から満足できる仕事は、まだ自分が知らない仕事かもしれないことに気づくことができました。



1年進路ガイダンス

学習合宿

2年生

8月22～24日、文理進学コース2年生は、志賀高原で学習合宿を行いました。コロナ感染防止の観点から、これまで多くの学校行事が中止となりましたが、感染対策を講じながら実施することができました。

合宿では、朝8時から夜10時過ぎまで授業や自主学習に取り組み、学習の合間には、自然あふれる環境の中での運動やデバイス先生の指導のもとでゲームをしました。



2年学習合宿の様子

生徒たちは合宿を通して、集団生活における規律や、協力することの大切さなど、学習以外にも多くのことを学んだようです。

1年生

8月24～26日、文理進学コース1年生は、志賀高原で学習合宿を実施しました。この合宿では勉強すること以外にも、大事な目的がありました。それは、学習計画を立て学習に励み、その日のうちに計画通りにできたかどうかを振り返って反省し、再計画を立てて翌日の学習に生かすというサイクルを身に付けることです。

多くの生徒がこの目的を達成し、さらに、友人たちと生活を共にしたことで、協力し合うことや一人ひとり責任をもって行動をすることの大切さなども学んだようです。



1年学習合宿の様子

富田キャンパス・ピククス

ブルガリア大使訪問

4月26日、駐日ブルガリア大使であるマリエタ・アラバジエヴァ氏をお迎えし、「今、ヨーロッパはどうなっているのーブルガリアという国で」という演目で1年生



講演会の様子

を対象とした講演会を実施しました。この講演会は、白鷗大学名誉教授である高橋浩夫先生のご尽力で実現したもので、国際的な視野を持つ生徒の育成を目的としています。初めに大使から、EUとは、安定・平和繁栄のために協力する国々の共同体であるという説明を受けました。その後、文化通訳のエレナ・クツロヴァ氏からブルガリアの歴史や伝統についてのお話を伺いました。生徒たちはEUの存在意義やプ

新入生歓迎球技大会

5月26日、新入生歓迎球技大会が実施されました。コロナ禍での開催であったため、昨年同様、感染症対策を徹底して、サッカー・



モルックの風景

ソフトテニス・ドッジボール・バドミントン・モルックの5種目を行いました。学年の枠を越えての戦いほどの種目とも白熱し、特にサッカーでは、サドンデスのPK戦となる試合が多くあり、熱戦が繰り広げられました。結果は、3年生が、先輩の風格を見せつけ優勝を勝ち取る種目が多くありました。実力を出し切れず悔しい思いをしたチームもありましたが、勝敗に関係なく、生徒たちはスポーツを通して、クラス内の親睦を深めたり、他学年の生徒との交流を持つたりと楽しい一日を過ごしたようです。

群馬大学教授講演会

6月9日、群馬大学副学長・板橋英之教授をお迎えし、「群馬大学学発ベンチャーの挑戦」と題して1年生を対象とした講演会を開催しました。



講演会の様子

板橋先生は、2017年から群馬大学発のベンチャー企業を設立、研究成果を中心にした商品開発に取り組み、その利益を大学に還元するシステムを構築しています。そして社会問題を解決し、SDGsの達成を目指しているというお話を伺い、大学での研究内容が具体的な形になり社会貢献していく過程に生徒たちは大変興味をもつ



茶道体験の様子

ルガリアの文化に触れ、欧州と日本の関係について学ぶことができ、有意義な時間を過ごしました。

大学入試説明会

6月16日、2、3年生を対象とした大学入試説明会が行われました。宇都宮大学、群馬大学をはじめとする計20の大学が参加し、対面、オンラインでの説明会となりました。



シーガルホールにて

進路決定を直前に控えた3年生だけでなく、今回は、入試に対する意識を高めることを目標とし、2年生も参加しました。各大学の入試の特徴や対策についての説明に対して、生徒たちはメモを取りながら熱心に耳を傾けており、その様子にはお褒めの言葉もたくさんいただきました。

Bad Guys ART work ゆこぴりホープ賞受賞！

はくおう第64号で紹介しました自主映画製作チーム「Bad Guys ART work」がゆこぴり国際ファンタスティック映画祭(2022)において、ゆこぴりホープ賞を受賞しました。タイトルは「綾部光真の正しい大人になる方法」【監督・進3の4板橋謙佑さん(白鷗中)】。この映画は、過日行われた富can祭でも上映されました。



映画ポスター

この作品は、18歳という成人年齢を目前にして、「大人になる」ことへの心の葛藤を、足利の美しい風景に乗せて表現した作品です。主人公は、悩む過程で、今の一瞬一瞬を一生懸命に生きることを人を楽しみることにつながる気がつきます。見る人が前向きになれるような作品となっています。

—2022— 富can祭 飾れ有終の美～富田校舎に感謝して～

「テーマ」 特進3の2 梅澤 侑生さん（太田城東中） 進学2の2 中島 梨沙さん（明和中）



7月15・16日、富can祭が開催されました。今年は、コロナ禍のため、一般の方の入場を制限しての開催でした。体育館、シーガルホールでは、ダンス同好会や演劇部・合唱部、吹奏楽部の発表のほか、有志によるバンド演奏やアンサンブル演奏などが行われました。校舎内では各クラスが工夫を凝らした催し物を準備し、笑顔あふれる2日間となりました。

2024年3月をもって富田キャンパスの移転が決定しています。様々な制約がありますが、富田キャンパスでの最後の富can祭を思い出に残る素晴らしいものにしようという生徒たちの心意気を感じられる文化祭となりました。



「ボスター」
特進3の1 飯塚唯羽さん（毛里田中）



クラス・部活動・同好会の展示、催し物





白鷗大学だより

PLUS ULTRA — さらに向こうへ

地方創生推進で栃木県と連携協定を締結 自治体連携は今回で4件目

3月23日、地方創生の推進に向けて取り組むための栃木県との連携協定締結式が、栃木県庁において執り行われ、福田富一知事と北山修学長が協定書を取り交わしました。本学からは上岡條二理事長、清水正義法學部長(当時)らが参加しました。

本学と栃木県とはこれまで様々な形で協力してきましたが、この協定の締結を機に、人口減少、地域経済の停滞といった課題への対応と、魅力と活力のある地域経済・地域社会の実現に向けてさらに連携して取り組んでいきます。

北山学長は「本学では、2022年度以降、県から提示された具体的な課題に関する本学学生によるリサーチや発表、本学教員による地域課題に関するテーマ講義、地域と大学との連携に関するシンポジウムの開催などを検討しており、両者にとって実りあるものと



調印後、記念撮影する
福田知事(左)と北山学長

なるよう努めてまいります」と挨拶しました。

本学が自治体と連携協定を締結するのは、栃木県小山市、茨城県結城市、栃木県栃木市に続き4件目です。

教職支援センターを設置 教職員養成と臨床研究 実践の新たな拠点へ

4月27日、教職支援センターの開所式が大行寺キャンパスで行われました。同式には、北山修学長をはじめ、上岡條二理事長や金井正教育学部長、黒羽正見同センター長、上野耕史同副センター長らが参加。北山学長は「地域における教員養成と教育臨床研究・実践の新たな拠点へと発展させたい」と期待を寄せました。

本学では、教員を目指す本学学生はもちろん、教育に携わる方々や関心のある方々に総合的な教育支援を行い、教育現場をより一層活性化すべく、教員養成や教育臨床に関わる総合センターとして「教職支援センター」を設置しました。これは、学内の各学部(経営・法・教育)および、他の教育機関や地域社会との連携を図り、教職課程における教育職員の養成・研修など総合的な教育指導・支援を



開所式で概要説明をする
黒羽センター長

行っただけでなく、全学的な教職課程のマネジメントならびに教員研習を円滑に実施することも目的としたものです。今後、優れた指導力を有する教員の養成、学校現場が抱える問題についての研修や最新の教育に関する情報の発信など

初代女王に輝く

女子バスケット部がルーキーズインカレで栄冠!!

7月4〜9日に開催された全日本大学バスケットボール新人戦(プレ大会)において、本学女子バスケットボール部が優勝を果たしました。今年度新設されたこの大会では、全国9地区の予選を勝ち抜いた男女各16大学が、予選リーグ戦(グループステージ)およびトーナメント方式にてルーキーズの頂点を競いました。

個人では、オコンクウォ・スーザン・アマカ選手(経営2年)が最優秀選手賞とリバウンド王、樋口鈴乃選手(教育・スポ3年)が優秀選手賞に輝きました。女子バスケット部を率いる佐



優勝杯を手に笑顔の選手たち

を、現場と連携していきます。6月からは「学び続ける教師のための教員研修リレー講座」を開講しました。これは、現代的な学校教育課題の解決を目指して、教育問題に詳しい本学および他大学の教員による講演や、参加者同士の情報交換等を行うものです。幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等に勤務する教職員や教員を志す学生、教育に関心のある方などが対象で、参加費は無料。同講座は11月までに全8回を予定しています(要事前申し込み)。

藤智信監督は、「記念すべき初開催となった新人インカレで優勝できたことは非常に嬉しいことであり、若い選手たちにとっても自信につながるものでした。この勢いのまま、今後のリーグ戦、国体そしてインカレと、4年生も合流し、チーム一丸となって優勝を目指し戦っていきます」と意気込みを語りました。

PTAだより

ご挨拶

PTA会長 石井 薫



PTA会員の皆様、日頃のPTA活動に多大なるご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。本年度よりPTA会長を仰せつかりました、石井薫と申します。昨年度まで運動部後援会長を務めていました。

前任の西場会長には、長きに渡りPTA活動にご尽力を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。西場会長の後任を、微力ながら精一杯務めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

ここ数年は新型コロナウイルスの影響により、行事や活動の中止が儀なくされてきましたが、これまで、活気あるPTA活動が行われておりました。その活動の一つとして開催されてきました支部懇談会が、

今年も中止となってしまい大変残念でなりません。会員の皆様の交流、先生方との交流が、PTA活動の活気の源であり、生徒たちを支える力だと思っております。これを引き継ぎ、少しでも皆様のお役に立つことができたら幸いです。

会員の皆様には今後ともPTA活動にご理解いただき、お力添えのほどお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

1年探究学習

グループワークの大切さを学ぶ

4月20日、本校舎体育館にて第1学年の進路講演会が行われました。



ペーパータワー作りの様子

講演会は二部構成で行われ、生徒たちは一部でペーパータワー作りを行い、二部では高校生活と進路に関する講演を聞きました。

今回の講演会は入学して間もない生徒に対し、グループワークを通してチームワークの重要性とコミュニケーションの大切さを学ぶことを目的として実施されました。

友人と各々の模擬授業を受けていました。感染症対策が行われている中にも活気があり、そこには高校生活や本校に対する期待が見え、先生方も気の引き締まる思いでした。

一身体験学習

7月23・24日の2日間に渡って、本校舎・富田キャンパスにおいて一身体験学習が実施されました。コロナ禍ではありましたが、本校舎738名、富田キャンパス873名の中学生と保護者が来校しました。

本校舎

本校舎では、全体説明に続いて、15の模擬授業から一つを選択して受けてもらいました。全体説明は、放送部制作による学校生活紹介が特に好評で、本校への理解をより

本校舎 模擬授業一覧

教科	科目
国語	①ジパニヤン!?
国語	②小説の読解
社会	①アメリカ独立戦争
社会	②国旗を見比べよう!!
数学	①黄金比で学ぼう
数学	②規則性を考える
理科	①君は化学変化がみえる化!
理科	②DNAを抽出してみよう!
英語	①洋楽(デイズニー音楽)を英語で楽しもう!
英語	②It's very hot today, isn't it?から考える英語コミュニケーション
音楽	ドラマー気分を味わおう!
美術	マンガ表現にチャレンジ
子ども教育	妊婦体験をし、赤ちゃん(保育人形)と遊ぼう!
ビジネス	表計算ソフトで表とグラフを作ろう
情報	情報を発信しよう!

深めてもらえたようです。高校での授業に親しんでもらいたいと実

施した授業は、終了後に、「楽しい、分かりやすい、ためになる」という感想が多く寄せられました。先生方の工夫を凝らした丁寧な授業と、在校生の明るく親切的な対応によって、本校舎の良さを大勢の方に感じてもらえた2日間になりました。

富田キャンパス

新型コロナウイルス感染症のため3年ぶりの開催となった今回は、三密を避けるため、中学生の申込み定員を各回380名に限定したうえで、基本的な感染症対策を十分にとつての実施となりました。参加した中学生は、楽しそうに



模擬授業の様子

編集後記

生徒たちは、他のグループよりも高いタワーを完成させようと各々が意見を出して相談し、目的達成に向け協働して取り組みました。

未だ新型コロナウイルス収束の兆しは見えませんが、昨年度までと比べて、感染症対策を講じながら、行事や大会などを実施することが増えました。富Can祭や社会見学、学習合宿など、生徒にとつて高校生活の思い出に残る行事も実施することができました。

これらの学校行事を含め、3年間しかない高校生活は、かけがえないものです。この貴重な時間を充実したものにするためには、世の中がどのような状況であれ、今、自分ができることに力を注ぎ、今を大切にして過ごさなければなりません。生徒の皆さんにはコロナ禍の中でも、学校生活を充実したものにするために創意工夫をしてほしいと思います。その積み重ねは、将来、皆さん自身を支える力になるはずですよ。

※ お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。
編集・校報委員会
発行・白鷗大学足利高等学校
足利市伊勢南町3の2
0284-410890
制作・(有)コーエイプロセス
発行日・令和4年9月30日